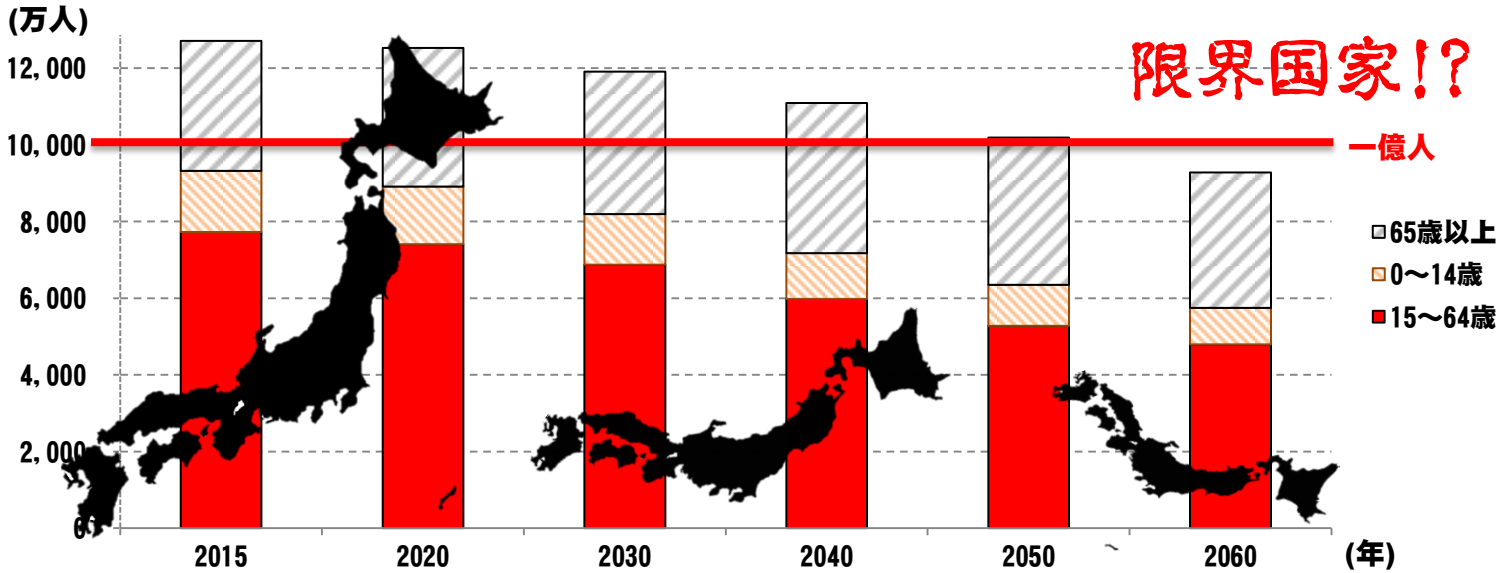


# 人口激減時代の最終選択 移民受入の是非を問う！入場無料

消費者が減り、労働者が減り、子どもが減る。地方からじわじわ“限界集落”化し、行き着く先は・・・



日時

平成29年12月7日(木)  
17:00~18:00  
受付 16:30~

会場

ホテルニューオータニ博多  
3階「芙蓉 雅」  
中央区渡辺通 1-1-2 ☎092-714-1111



話題沸騰で増刷!  
アマゾン朝日新書ラン  
キングで一位を記録!



単なる人口減少ではない。医療・福祉費の負担増大や国内消費の縮減が不可避なのはもちろん、世界第3の経済大国が、1億人超の利用と維持管理を要する巨大社会基盤(道路・施設・工場・住宅等)を抱えたまま**人口が激減**するという歴史上、**未曾有の事態**に直面する。悠長に昔に戻れば良い、出生率を上げよ、AIに期待等と言っている**暇は無い**。日本国一丸となって、あらゆる手段を尽くし、この**カタストロフィ**に立ち向かわねば、この国の将来は**奈落の底**だ。特効薬は無いが、最も有効な手段として毛受氏が訴えるのは、外国人の積極的な受入だ。氏は各種情報を丁寧に示しながら、しかるべき準備を整えることで、**移民政策**は、確実に新たな国造りの礎となると言う。まだ**今ならきっと間に合う**。

【講師】公益財団法人日本国際交流センター 執行理事 毛受 敏浩氏：慶応大学法学部卒業、米国エバグリーン州立大学行政管理大学院修士号取得、桜美林大学博士課程単位取得退学。兵庫県庁勤務後、草の根の国際交流、国際協力など幅広い分野の活動に携わる。第一回国際交流・協力実践者全国会議委員長、慶応大学非常勤講師。国際交流基金地球市民賞選考委員、総務大臣姉妹自治体表彰選考委員等を歴任。現在、総務大臣自治体国際交流表彰選考委員、新宿区多文化共生まちづくり会議会長。「限界国家 人口減少で日本が迫られる最終選択」(朝日新書)、「人口激減—移民は日本に必要なである」(新潮新書)等著書多数。最近「ニュース深読み」や「ビートたけしのTVタックル」等TV出演も多い。

◆お問合せ先◆ (公社)福岡貿易会 092-452-0707 [info@fukuoka-fta.or.jp](mailto:info@fukuoka-fta.or.jp) 押野、山本

【主催】公益社団法人 福岡貿易会 【共催】福岡振興事業協同組合

〜〜 下記ご記入の上このままFAX、またはEMAIL【[info@fukuoka-fta.or.jp](mailto:info@fukuoka-fta.or.jp)】にてお申込ください。〜〜

※ご記入いただきました情報は、(公社)福岡貿易会が適切に管理し、セミナー受付業務に利用します。

参加申込書 FAX: 092-452-0700 (福岡貿易会宛) 締切: 11月30日(木)

貴社名		所属 役職		お名前 (複数可)	
所在地		ご連絡先			
〒 -		TEL: ( ) -	FAX: ( ) -		
		E-MAIL:			